

# 留 学 報 告 書

令和 7 年 2 月 20 日

学 部 人間科学部 学科・課程 人間科学科

氏 名 大城 久李亜

※ 留学先大学での成績証明書を添付すること。（島根大学に直接送付される場合はよい）

1. 留学先大学・学部 国名 アメリカ合衆国

大学名 アーカンソー大学

現地到着日（ 2024 年 12 月 27日） 授業開始日（ 2024 年 1 月 14 日）

現地出発日（ 2025 年 12 月 30 日） 授業終了日（ 2024 年 12 月 12 日）

2. 日本を出発するまでの主な手続き及び準備

Visaの手続き、行きの飛行機のチケット、TOEFLの受検、はしかなどの予防接種、銀行の残高証明書の提出、その他留学先から請求された書類の提出

3. 自宅から留学先大学までの交通手段（乗物の種類、乗り換え地、所要時間）

出雲空港から1時間ほどかけて羽田に到着。羽田空港からカナダのモントリオール国際空港へ12間。そこからフロリダのオーランド空港へ4時間かけ飛行し、何日か滞在した後、ダラスを敬意由して5時間、アーカンソー州のXNA空港へ。そこから30分ほどで大学のあるフェイトビルに着きました。

4. 留学先大学での各種手続きの仕方

留学先での各種手続きに関してはすべてオンライン上で行われました。PDFの提出の仕方等がある程

度わかっていたら苦勞することは無いと思います。ただ注意点として、提出の際エラーが起こることも多々あって、ほとんどの場合は大学側の問題であることが多かったため、何かあった際は迷わず担当の方にメールで相談することをお勧めします。また、銀行の貯金残高や予防接種の証明書に関しては発効までに1週間かかるケースもあるので早めの準備が必要です。

---

#### 5. 留学生へのオリエンテーションの内容及びプレースメントテストについて

交換留学生向けのオリエンテーションと、他のプログラム（正規として海外から来てる学生も含む）からの国際留学生向けのオリエンテーションと2つに参加する必要がありました。前者では主にvisaに必要な手続きの詳細や他の交換留学生との交流がありました。後者は基本的に手続きというよりは学校の特徴であったり、学校内でのルールといったようなことを学ぶ場で、さまざまなブースがありコミュニティーへの勧誘なども行っていました。

---

#### 6. 授業の受け方、ペーパー及び試験の傾向等について

授業の受け方としては、それぞれの授業で大きく異なっており先生の話の基本聞くだけの授業や自信が授業中に問題を解いたり意見を発表したり等が求められるような授業もありました。試験の方法はペーパーの試験はあまりなく、オンラインのテストを受けるという形が一番多かったです。ものによっては家で受けることもでき、リラックスした状況で受けることもできました。また場合によっては英語のスキルなどを考慮し時間面を配慮してくださる場合もあるので困ったときには迷わず相談すべきです。

---

#### 7. 留学先大学で学んだ科目のうち特に良かったもの、後輩に勧めたいもの

英語の能力に不安がある、または他の留学生の生徒さんと交流し仲良くなりたいと思う気持ちがある方は Academic Writing といった授業がおすすめです。少人数で自分が発言できる機会も多いですし、何よりも一緒に授業を受けた生徒さんたちとたくさん交流を持てたことがとても楽しかったです。また先生も国際留学

生に理解がある方なので、授業のことでも生活のことでも相談できるといったところがよかったと思います。

---

---

8. 留学先大学の住居の種類等について、後輩にどのような寮・アパートを勧めるか

私は前期では大学側が提供するアパートに住んでいました。もちろん寮のほうが格段に安くはなるため入れるのなら寮のほうがいいのかなと思います。しかし、寮だとミールプランに強制的に入る必要があり、それも安くはないのでそこのバランスを見ながら選ぶといいと思います。夏休み、後期に関しては友達がルームメイトを探していたので個人で契約して1家屋に3人で住むという形でした。しかし、オーナーと折り合いが合わないこともあったりしたので、大学側が提供しているところに住めるのならばそれが一番いい選択肢だと思います。

---

---

9. 寮・アパート生活での注意、生活の様子（行事など）、困ったこと、ルームメイトとの付き合い方、（いつから入れるのか、寮の開閉、寮が閉鎖中の滞在場所等）

アメリカの大学ではほとんどがシェアして生活する空間なので、ルームメイトの相性はやはり大切にはなってくると思います。しかし、性格であったり、寝る時間帯といったところは考慮して自分にあうルームメイトを選んでくれたりはします。基本は寮でなければ授業の始まる1週間前に入ることができ、春休みや冬休みの短い休みでも閉まることなく、自分のアパートに滞在できます。

---

---

10. 留学先での金銭の扱い及び貴重品の管理について

（どのような口座を利用したか、現金とかカードの利用は、自宅からの送金はどうしたか等）

基本的には自分の部屋にカギがついていたので、自分の部屋で保管していました。支払いは基本はクレジットカードを使用していました。また、アメリカの銀行に振り込み等が必要な場合はWiseといった日本円をドルに換えることができるトランスファーアプリを使っていました。現金はあまり使わなかったです。

---

---

11. キャンパス案内（どんなとき、どこへ行けばよいか等）

キャンパスはとても広く、たくさんの建物がありました。かつとる授業によって場所も本当にバラバラなため、移動がとても大変です。しかし場所に関してはグーグルマップや学内のサイトのマップを使えば把握することができるので心配する必要はないと思います。また、勉強できるスペースはたくさんあり、ユニオンといった食堂やジムがあるところや図書館もとても広く集中するにはいい場所です。健康面で困ったことがあれば保健センターも大学内にあるのでそこに行くことをお勧めします。

## 12. 現地案内（買物、銀行、レストラン、理髪店、美容院等の様子）

大学が無料のシャトルバスを運営しているため、基本どこにでも困ることなく行くことができます。銀行は自分自身は開く必要がなかったので行く機会はありませんでした。周りにはファストフード店からレストランまでいろいろあるので食べ物に困ることはないと思います。また、ウォルマートの発祥地でいたるところにあるので、買い物で困ることもありません。美容院に関しては大学校内にもあります。

## 13. 失敗談（どんな小さなことでも）

私がした失敗談は初めのころバス停がどこで待つのがらず、乗りたいバスの向かい側のバス停で待ってしまっていたということが多々ありました。また、大学の図書館や食堂は日によって閉まる時間が異なるため、行く前に事前に確認するほうがいいと思います。私は開いてるだろうと思って、キャンパスに行ったらどの建物も開いておらず、行く場所に困るといったことが多々ありました。

## 14. 病気になった場合の対応について（医療費はどのようになっていたか、保険等はどのようにしたか）

私は病気には幸いならなかったのですが、体調が悪い時には大学内の保健センターにまずは行ってみたいほうがいいのかなと思います。留学生は必ず保険に入る必要があります、病気になった際にはそこから医療費が負担されます。しかし、そこには目や歯に関する保険は含まれていないので必要な場合は自分で入る必要があります。

---

15. お世話になった方々

私はバイブルスタディといったものに参加したのですが、そこで出会った夫婦と仲良くなり、ハイキングや夏休みには2週間ほどホームステイをさせてもらえる機会がありました。また、ifriendsといって一人のアメリカ人学生が留学生につき、いろいろなカルチャーを紹介してくれるという制度があり、そこで仲良くなったことにもいろいろな所に連れて行ってもらいとてもお世話になりました。

---

16. 留学先国内旅行について（場所、手段、費用、旅行社等）

5月の下旬にモンタナ州、ミズーリ州、アイダホ州に旅行に行きました。飛行機でそこまで行き、車を運転できる友達がいたのでそこでの移動は基本その友達が運転してくれていました。費用は10日ほど滞在して、飛行機なども含めて20万円ほどかかりました。

---

17. 気候と服装について

気候は日本の春夏秋冬と似ていて、冬はとても寒く雪が降るほどで、夏はとても暑いです。そのため服装に関しては島根で過ごすのに必要な服をそのまま持っていけば問題ないと思います。大学内は坂が多いので地面が凍ったときに滑らないような靴があってもよいかもしれません。

---

18. 日本からぜひ持っていきたいもの（学用品、衣服、食品、薬、運転免許証等）

私は日本から持って行って便利なものは缶切りだと思います。向こうの缶きりは缶切りの取っ手を回しながら開けるタイプのものしかなく、安いものだとよく壊れてしまいました。そのため、壊れる恐れのない100均でも売っているような普通の缶切りをもっていくといいと思います。学用品に関してはすべて大学内においてあるもので対応できたので特に心配する必要はないと思います。また、最近ダイソーが近くにもできたので少し高くはなりますが、何か困ったときには日本のものでも大体は簡単に手に入ります。

---

---

19. 留学に際し最も役立った本は（専門書，旅行案内書を含めて）

私は特に留学先に本はもっていきませんでした。しかし、TOEFLの勉強の時に使っていた単語帳だけはも  
って行って、自分の英語力をキープするためにも持っていてよかったなと思います。

20. ホームステイの依頼方法

アーカンソー大学は現在ホームステイのプログラムは提供されていません。しかし、知人を作ってそこ  
でしばらく滞在させてもらったりなどはできます。

21. 留学費用について

1) 旅費	(往) <u>16万</u> 円, (復) <u>12万</u> 円
2) 準備費用	<u>10万</u> 円
3) 大学へ納入する費用	<u>0</u> 円
授業料 (年間合計)	<u>0</u> 円
保険等その他の費用	<u>40万</u> 円
4) 住居費 (光熱費等含む)	<u>120万</u> 円
5) 衣服代, その他雑費	<u>30万</u> 円
6) 帰国時の土産代, 郵送料等	<u>2万</u> 円
7) 留学先国内旅行費用	<u>20万</u> 円
8) 上記を含めその他すべてを含めた合計金額	<u>250万</u> 円
現地通貨 <u>1</u> ドル 日本円換算 (レート) <u>153</u> 円	

22. 帰国時の荷物の作り方, 送り方等

飛行機で無料で預けられる範囲での重さ、大きさでそれ以外での郵送はなかった。

23. 留学して得たこと (全般についての感想文)

現地の人との交流や授業を受けることをとおして、日本とは違った文化を直接感じ取ることができました。また、人とのつながりを持つことの大切さを学ぶことができました。現地では自分の頼れる人がいないからこそ、自分から積極的に人に助けを求めること、そして多くの人との関係をきづこうという心持を持つこときっかけになりました。このことは自分の中でもとても大きな学びで、これから生きていくうえで一人ですべてを解決しようとするのではなく、周りの人と互いに協力することで難しい課題にも挑戦することができる気づけました。

1年間の留学を通して、最初のころは友達ができるかやそもそも自分の英語の能力にも不安がありました。しかし、1年たってみるとあっという間で、いろいろな経験やつながりを持つことができとても自分の中で楽しい思い出になりました。